

県内の少年非行(令和2年4月末)

兵庫県警察本部少年課

注:数値は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

令和2年4月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は580人で前年同期(673人)に比べて93人(13.8%)減少している。

不良行為少年は4,122人で、前年同期(4,122人)と同数となっている。

区分	年別	令和2年	平成31年	増減	
		4月末	4月末	人員	率(%)
非 行 少 年	犯罪少年	332	362	-30	-8.3
	触法少年	124	157	-33	-21.0
	計	456	519	-63	-12.1
	特別法 犯	71	75	-4	-5.3
	触法少年	14	23	-9	-39.1
	計	85	98	-13	-13.3
ぐ犯少年	39	56	-17	-30.4	
合計	580	673	-93	-13.8	
不良行為少年		4,122	4,122		

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	令和2年	平成31年	増減	
		4月末	4月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
刑法犯少年		456	519	-63	-12.1
凶悪犯		12	1	11	1,100.0
粗暴犯		112	103	9	8.7
窃盗犯		229	313	-84	-26.8
知能犯		12	5	7	140.0
風俗犯		13	6	7	116.7
その他		78	91	-13	-14.3
うち占離		35	47	-12	-25.5

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	令和2年	平成31年	増減	
		4月末	4月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
総数		456	519	-63	-12.1
未就学		2		2	
小学生		65	86	-21	-24.4
中学生		138	168	-30	-17.9
高校生		138	166	-28	-16.9
その他学生		28	15	13	86.7
有職		65	57	8	14.0
無職		20	27	-7	-25.9

4 初発型非行の状況

区分	年別	令和2年	平成31年	増減	
		4月末	4月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
総数		217	298	-81	-27.2
万引き		128	171	-43	-25.1
オートバイ盗		16	26	-10	-38.5
自転車盗		38	54	-16	-29.6
占有離脱物横領		35	47	-12	-25.5
刑法犯少年に占める率(%)		47.6	57.4	-9.8	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の12.6パーセント(前年同期比-1.0ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の50.2パーセントを占め、次いで粗暴犯の24.6パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(2,494人)と深夜はいかい(1,181人)が全体の89.2パーセントを占めている。